

第5学年国語科学習指導案

日時 平成28年11月18日(金) 5校時

児童 5年 男18名 女9名 計27名

指導者 教諭 山口 響

- 1 単元名 「見つけた説明のしかたの工夫を使って、くらしやすい社会に向かっているか、資料を用いて意見を述べよう」
教材名 「天気を予想する」(光村図書5年P138~P148)
「グラフや表を用いて書こう」(光村図書5年P149~P153)

2 言語活動とその特徴

本単元では、「社会のくらしやすさについて、表やグラフを効果的に用いながら、自分の考えを伝える意見文を書く」という言語活動を行う。具体的には、これからの社会が、くらしやすいかくらしにくいかについて自分の考えをもち、それに必要な資料を用いて意見文を書く活動である。そのためには、「天気を予想する」の学習において、筆者の意図や思考を想定しながら、文章全体の構成を把握し、自分の考えを明確にして読むことが必要となる。また、「グラフや表を用いて書こう」の学習で、理由や根拠を明確にしながらか自分の考えを記述したり、資料から読み取れる事柄を自分の言葉で表現したりして書くことが必要となる。

これらによって、本単元でねらう「C読むこと」の指導事項「ウ目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読みだりすること」及び「オ本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」並びに「B書くこと」の指導事項「エ引用したり、図表グラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」の実現を図ることができる。書き上げた意見文は、昨年度、同じ教材で学習を行った6年生に読んでもらい、内容や書き方について感想をもらうことで、児童に必要感や達成感をもたせたい。

3 単元について

(1)児童について

児童は、前単元「見立てる」「生き物は円柱形」において、要旨をとらえたり、「はじめ・中・終わり」の文章構成や、例を挙げて説明すること等の筆者の説明の工夫について考えたりする学習を行っている。これを通して、大事な文や言葉に着目して読むことができるようになってきている。しかし、書かれている内容を的確に読み取って自分の力で要旨をまとめたり、文章構成をとらえ、筆者の表現の工夫に気付いたりする力は個人差が大きく、多くの児童が十分に身に付いているとは言えない。「天気を予想する」では、これまで学習してきた文章の構成とは異なり、筆者が3つの問いと答えを繰り返して自分の考えを述べている点に気付かせながら読ませたい。

資料を扱う学習においては、4年「目的や形式に合わせて書こう」において、目的や形式に合わせて資料を選択したり、書き方を工夫したりして書く経験をしている。他教科や他領域、日記等においても書く活動を行っているが、自分の考えが伝わるように表現を工夫して書く力は、まだ定着していない状況である。本単元では、考えを述べる根拠として、図表やグラフの何を取り上げ、どう表現しているかについて着目させることで、書き手の意図について考えさせていきたい。

(2)教材について

「天気を予想する」は、児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材としている説明的な文章である。最初に文章全体を覆う大きな問いがあるのではなく、小さな問いがあつて答えがある。すると次の問いが生まれるということを三回繰り返す構成になっている。少々長い文章ではあるが、既習事項を使って段落相互の関係をとらえることは難しくないと考える。また、図表やグラフ、写真などの資料が効果的に用いられ、説明が展開され

ているので、それらの資料の意図や効果を考えさせるのにも適している教材と言える。

「グラフや表を用いて書こう」は、「天気を予想する」の学習を踏まえて、私たちの生活に関係した資料を活用して、自分の考えを読み手に分かりやすく伝える文章を書く活動が設定されている。これから大人になる児童たちにとって、「社会の暮らしやすさ」という、自分の生活と関係が深い題材を取り扱うことで、興味をもって学習に臨むことができると考える。2つの教材は資料の効果的な活用という面からの結び付きが強く、併せて指導することで指導の効果が高まることが期待できる。そこで、本単元では、「読むこと」と「書くこと」二つの領域を複合させて単元を構成することで、単元の目標に迫るようにしたい。

(3)指導について

主体的な読みを引き出すために、第一次では、まず、社会の暮らしやすさや暮らしにくさについて話し合い、これから社会がどのように変化していくかという予想を立てさせる。その上で、単元のゴールとなるモデル文を見せ、資料を用いて意見文を書くという活動への見通しをもたせる。「天気を予想する」を読む学習では、初めに天気に関わる経験や天気予報について知っていることなどを話し合うことで、本教材を読む構えを作りたい。また、指導事項に関する既習の内容である要旨についてや非連続型テキストについて振り返ったり、単元を通して身に付けたい力を明確にさせたりすることで、学習への意欲付けを図りたい。

第二次では、筆者の論の展開と資料を用いた意図や効果に焦点を当てて読み取りを進めていく。論の展開では、文章中の三つの問いと答えの文が、それぞれどのように関連しているのかを考えさせたい。また、互いに関わり合いながら課題解決ができるように、必要に応じてペアやグループでの交流の場を設定する。

第三次では、第二次までに学習した内容を生かし、表やグラフを効果的に用いて、「社会の暮らしやすさ」について、自分の考えを伝える意見文を書く。その際には、教科書や図書、パンフレット等の身近なものの中から社会生活に関係したグラフや表を多数用意しておき、その中から児童が主体的に選択できるようにしておく。

4 単元の指導目標

- 題材、筆者の考え、説明のしかたに興味をもって読み、表やグラフを適切に用いて意見文を書こうとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- ◎ 筆者が伝えたいこと、論の進め方、資料活用の工夫について読むことができる。
(読むことウ)
- 筆者の主張や根拠について感想を話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
(読むことオ)
- ◎ 表やグラフを効果的に用いて、自分の考えが伝わるように意見文を書くことができる。
(書くことエ)
- 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ))

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・題材、筆者の考え、説明のしかたに興味をもって読もうとしている。 ・表やグラフを適切に用いて意見文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が伝えたいこと、論の進め方、資料活用の工夫について読んでいる。(ウ) ・筆者の主張や根拠について、自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフを効果的に用いて、自分の考えが伝わるように、意見文を書いている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・語と語の関係に気をつけることで、文の意味がとらえやすくなることに気付いている。 (イ・オ)

6 単元の指導計画(全12時間扱い)

次	時	主な学習活動	指導上の留意点(・) 評価規準(◇)
一	1 ・ 2	○天気や天気予報についての知識を交流したり、「天気を予想する」を読んで感想を交流したりして、題材への関心をもつ。 ○初発の感想をもとに、学習計画を立てる。新出漢字や難語句の学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会のくらしやすさについての意見文を書く」というゴールを示し、意見文における資料の効果等、単元を通して身に付けたい力の見通しをもたせる。 ・天気や天気予報について知っていることや初めて知ったこと、筆者の考えについて感じたこと、説明が分かりやすいと感じたこと等を交流する。 ・教室掲示などを活用して要旨や非連続型テキストについての学習を振り返り、既習事項を確認する。 ・教室に資料コーナーを設け、自分から進んで資料探しができるように環境を整える。 ◇[関]学習のゴールの例を見て、表やグラフを適切に用いて意見文を書こうとしている。(発表、観察)
二	3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 本時 ・ 7	○文章の構成や内容の大体をとらえるとともに、使われている資料の種類の確認を行う。 ○要旨と、筆者の論の進め方についてまとめる。 ○筆者の写真や図を用いた述べ方について、自分の考えを明確にして読む。 ○筆者の表やグラフを用いた述べ方について、自分の考えを明確にして読む。(本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の大体を読んで文章構成表を作成し、資料について確認する。 ◇[読ウ]三つの問いと答えを見付け、それぞれの関係を考えて読んでいる。(発言・ワークシート) ・要旨や、筆者の論の進め方について感じたことを書かせ、互いに交流させる。 ◇[読ウ]要旨をまとめ、筆者の論の進め方をとらえている。(発言・ワークシート) ◇[読オ]要旨と筆者の論の進め方について考えたことを交流し、自分の考えを深めている。(発言・ワークシート) ◇[言イ(オ)]語と語のまとまりや接続のしかたについて理解している。(発言・ワークシート) ・資料がある場合と無い場合の違いに気付かせ、資料の効果をとらえさせる。 ・平成23年度版の教科書の写真と比較させることで、筆者の意図について考えさせる。 ◇[読ウ]写真や図の用い方について、筆者の意図を想定し、その効果について自分の考えを明確にして読んでいる。(発言・ワークシート) ・表やグラフのどの部分を取り出して説明しているのかを押さえることで、筆者が伝えたいこととのつながりに気付かせる。 ・筆者は論を展開する上で、様々な意図があり、これらの表やグラフを用いたことや、それらがいかに効果的であるかに気付かせる。 ◇[読ウ]表やグラフの用い方について、筆者の意図を想定し、その効果について自分の考えを明確にして読んでいる。(発言・

		<p>○資料が効果的に用いられた文章を読み、資料の意図や効果について理解を深める。</p>	<p>ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の少年団大会で配布された「地球教室～基礎編～」の中から、表、写真、図、グラフが用いられている部分を全体で読んだり、教師のモデル文を再読したりして、資料を用いた意図や効果について確認するとともに、第三次の意見文を書く際の参考にさせるようにする。 ・教科書 P148「たいせつ」を読み、これまで学習したことを振り返ってまとめる。 <p>◇[読オ]資料が用いられた意図や効果に気付き、自分の考えをもち、交流を通して考えを広げたり深めたりしている。(発言・ワークシート)</p>
三	8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	<p>○「社会の暮らしやすさ」について自分の考えを整理し、自分の考えの裏付けとなる表やグラフを探す。</p> <p>○意見文の書き方を理解し、文章の構成メモを書く。</p> <p>○資料を効果的に用いながら意見文を書く。(10・11)</p> <p>○推敲、清書を行い、書き上げた意見文を交流する。</p>	<p>・社会生活に関係したグラフや表を児童が自ら探せるように、単元の初めから教室に資料コーナーを設けておく。</p> <p>◇[書ア]自分の考えの根拠となる表やグラフを収集している。(ワークシート)</p> <p>・頭括型、尾括型、双括型について押さえ、モデルの意見文と同じ双括型の意見文に取り組ませる。</p> <p>・モデルの意見文を用いて意見文の様式を理解させる。</p> <p>①意見の提示、意見の説明と資料の提示、結論(意見の再表示)で構成する。</p> <p>②中(意見の説明と資料の提示)は300字程度とする。</p> <p>③表やグラフの下に引用した文献を書く。</p> <p>◇[書イ]書くことを決め、全体を見通して構成の効果を考えている。(ワークシート)</p> <p>・教科書 P152「グラフや表を説明するとき」を読み、書き方を押さえさせる。</p> <p>・表やグラフが自分の意見の根拠となっているか考えさせる。</p> <p>◇[書エ]表やグラフを効果的に用いて、自分の考えが伝わるように意見文を書いている。(児童の意見文)</p> <p>・さらによい意見文となるように推敲し、清書を行わせる。</p> <p>◇[書エ]自分の考えが読み手に伝わりやすい意見文に仕上げている。(児童の意見文)</p> <p>・6年生から意見文の感想をもらう。(時間外)</p>

7 本時の指導(本時6/12時)

(1) 目標

表やグラフの使い方について、筆者の意図を想定し、自分の考えを明確にして読むことができる。(読むことウ)

(2) 指導過程

	主な学習活動 予想される児童の反応	指導上の留意点 (・) 評価 (◇)
導入 3分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 表やグラフを用いた述べ方について、筆者の工夫をまとめよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図や写真があることで、読む人がなかなか目にするものがないもの、文章からはよく分からないものをイメージし易くする効果があったことを確認する。
展開 37分	3 P138 の表と P142 のグラフを用いた意図や、その効果について考える。 (1) 表やグラフを説明している文を見付け、資料のどの部分を取り出しているか、また、なぜその部分を取り出したかについて考える。(一人学び) (2) 一人学びの内容を確かめ、筆者の意図や、表やグラフの効果について全体で共有する。 (3) 筆者の表やグラフを用いた述べ方について考えたことを発表する。 4 筆者の表やグラフを用いた述べ方の工夫についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えたいことを分かりやすく伝えるためには、表やグラフから必要な部分を取り上げて文を書くようにするとよいことが分かった。 ・ 何を伝えたいかによって、資料の種類を考え、用いることが大切であることが分かった。 ・ 筆者は、自分の論を進めるためや、次の問いにつなげるために表やグラフを用いたことが分かった。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人学びで行う活動が多いため、活動の内容を板書し、示しておく。 ・ (2) 以降は、先に表を扱い、その後、グラフについて扱うようにする。 ・ 表やグラフのどの部分を取り出して説明しているのかを押さえたり、文章構成上の表やグラフの登場箇所を確認したりすることで、筆者の意図を考えさせるようにする。 ・ 筆者は論を展開する上で、様々な意図があり、これらの表やグラフを用いたことや、それらがいかに効果的であるかを児童の言葉で表現させる。 ・ 板書をもとに学習内容を確認し、表やグラフから必要な部分を取り上げて文を書いている筆者の工夫に気付かせる。(支援の必要な児童への手立て)
終末 5分	5 本時の学習を振り返る。 振り返りの観点について自己評価をするとともに、第三次で自分が表やグラフを用いて述べる際に気を付けたいことを書く。 6 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇【読む】 表やグラフの使い方について、筆者の意図を想定し、自分の考えを明確にして読むことができる。(発言・ワークシート) ・ 様々な資料が用いられた文章を読んだり、教師のモデル文を再読したりすることで、これまで学習してきたことを確かめ、書く活動に生かしていくことを伝える。

(3)本時の評価規準

評価規準	「おおむね満足できる」(B)
[読む] 表やグラフの用い方について、筆者の意図を想定し、その効果について自分の考えを明確にして読むことができる。	伝えたいことを分かりやすく伝えるためには、表やグラフから必要な部分を取り上げて文を書くことが分かり、自分の主張に合った資料を用いた述べ方に生かそうとしている。 (発言・ワークシート)

(4)板書計画

